

ももちゃりの評価について



岡山市 都市整備局

1. 現状の整理

①導入目的と展開状況

■導入目的

- ・公共交通主体の交通体系構築
- ・賑わいある街なか創出
- ・本市のイメージアップ

■事業開始 平成25年7月

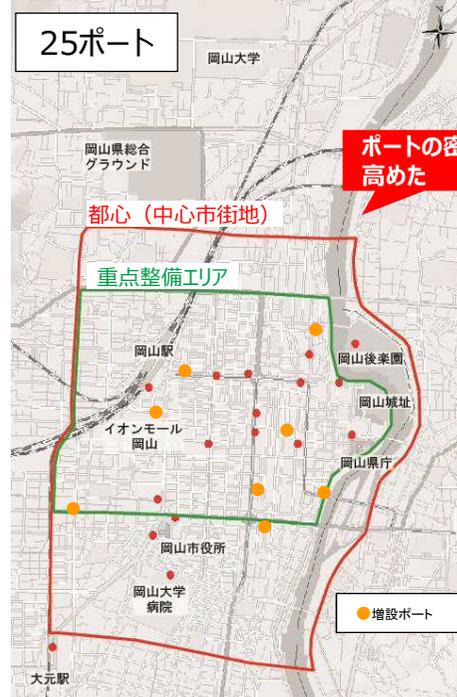
■運営事業者 中央復建コンサルタンツ株式会社

■ポート展開状況

【H25年度】



【H26年度】



【H27年度～現在(H29年度末)】



ポート数、自転車台数拡大状況

年月	ポート数 (箇所)	自転車台数 (台)
平成25年度	17	140
平成26年度	25	232
平成27年度	35	332
平成29年度	34	412

拡大

1. 現状の整理

②利用概況（1）

■会員数と推移

- ・ 累積91,714人（平成30年3月末時点）

累積登録者数の推移

（単位：人）

料金プラン	1回利用	60分 くりかえし利用	回数券	1ヶ月利用	6ヶ月利用	1年利用	1年利用 (法人)	合計
平成25年度	5,424	2,618	712	296	29	31	1	9,111
平成26年度	11,388	7,998	1,772	606	351	82	1	22,198
平成27年度	23,751	12,152	3,819	1,042	438	148	7	41,357
平成28年度	40,189	16,146	7,068	1,616	510	230	10	65,769
平成29年度	58,150	19,455	10,320	2,159	611	1,008	11	91,714

全ての料金プラン
で新規登録者の
増加が継続

年間の新規登録者数



新規登録者は増加を継続

- ・ 会員数は累計約9万人
- ・ 運用開始以来、全ての料金プランで新規登録者の増加が継続

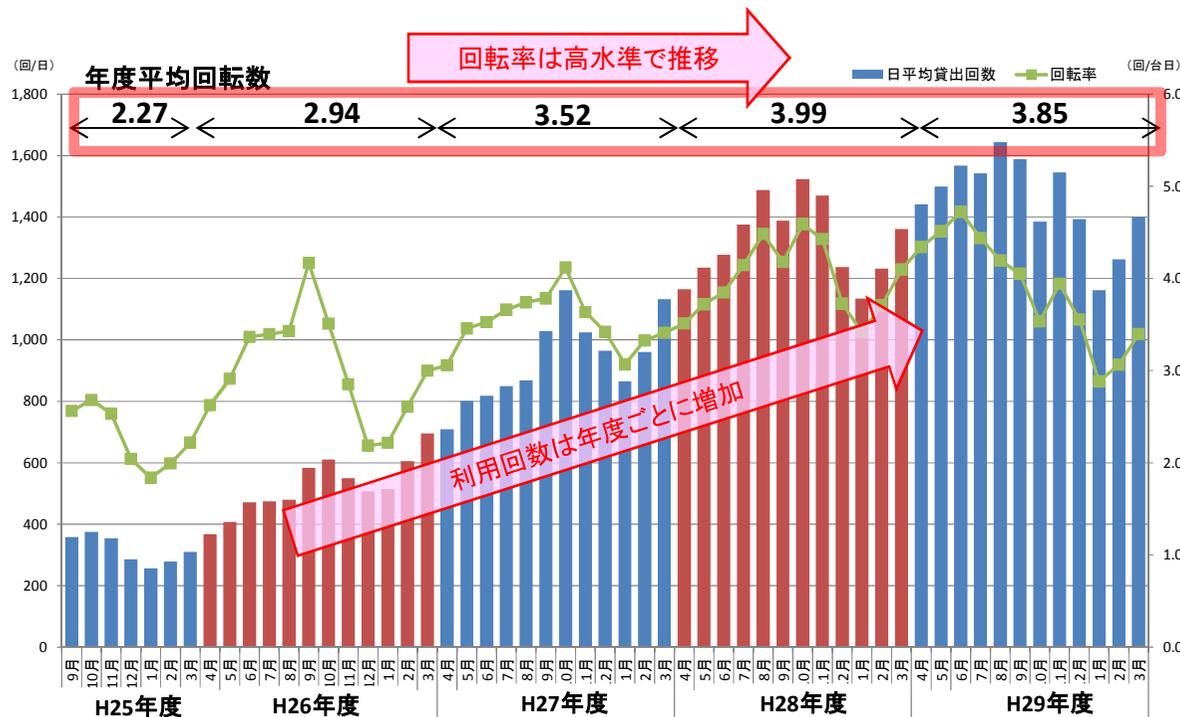
1. 現状の整理

②利用概況（2）

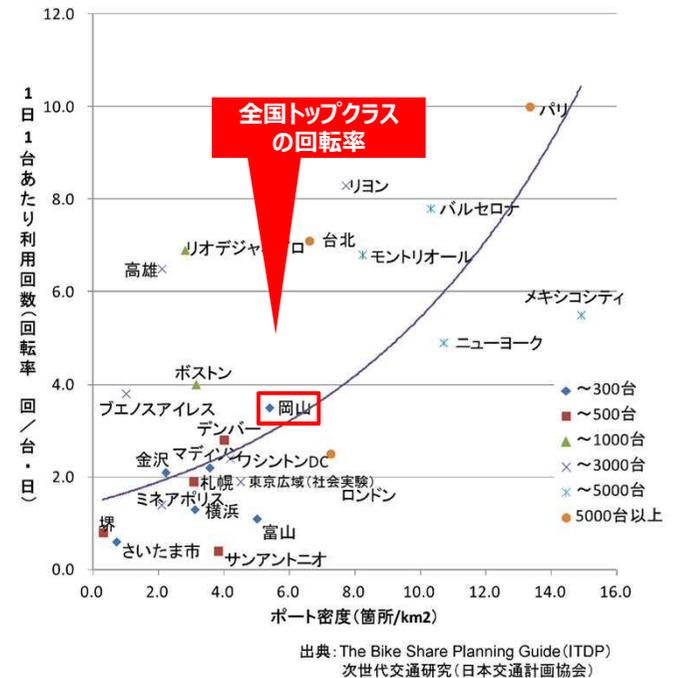
■ 利用回数と回転率

- ・ 利用回数 1,453回（平成29年度 1日あたり平均） ※平成29年度総利用回数は530,324回
- ・ 回転率 3.85回/日・台（平成29年度）

月別平均利用回数・回転数



回転数の他都市比較



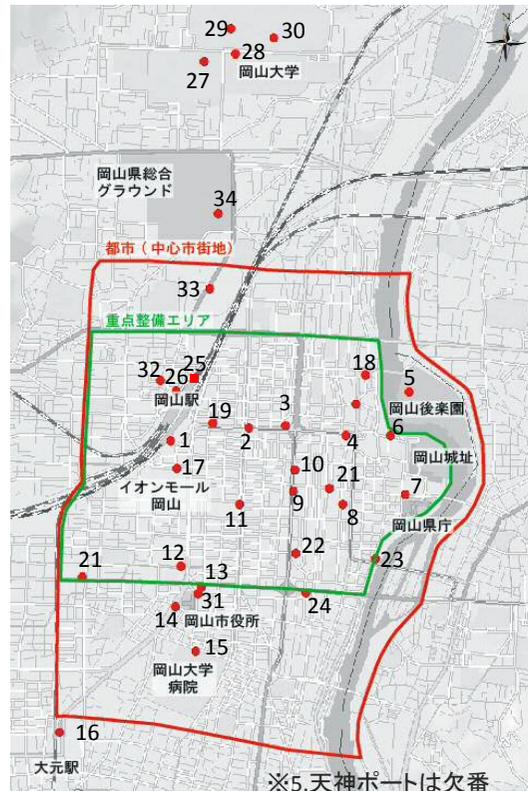
出典: 全国コミュニティサイクル担当者会議資料 (国土交通省、H29.3)

・1日平均約1,500回の利用、回転率は3.85で全国トップクラス

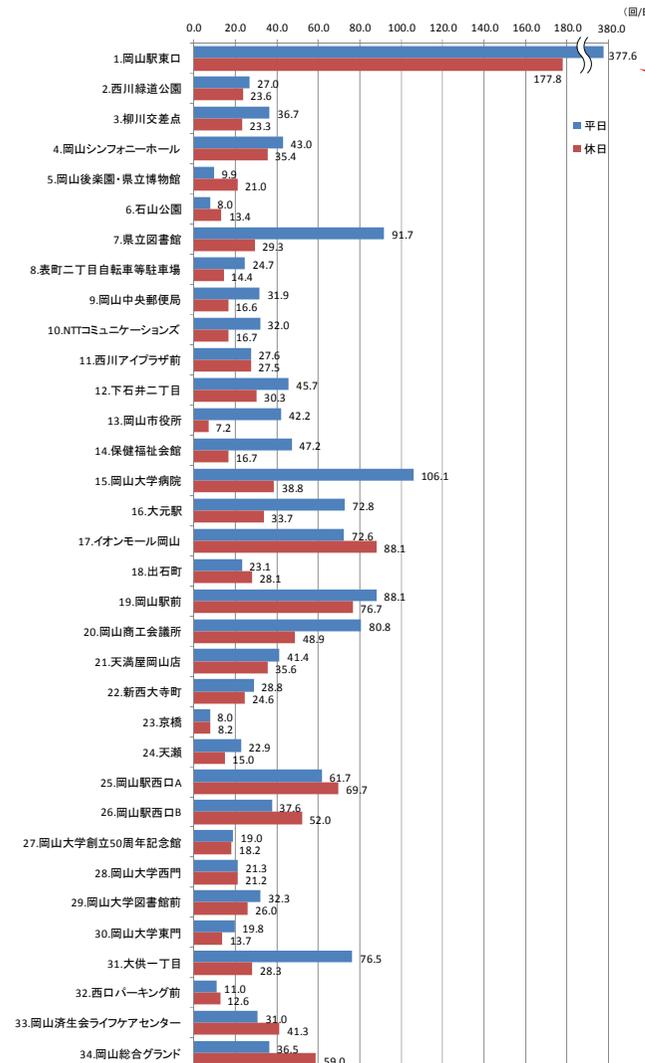
1. 現状の整理

②利用概況（3）

参考 ポート位置図（平成30年3月現在）



■各ポートの利用状況（平成29年11月、貸出回数の日平均）



交通拠点のなかでも岡山駅東口に利用が集中

利用の多いポート(平日)

- 1位 岡山駅東口
- 2位 岡山大学病院
- 3位 県立図書館
- 4位 岡山駅前
- 5位 岡山商工会議所

利用の多いポート(休日)

- 1位 岡山駅東口
- 2位 イオンモール岡山
- 3位 岡山駅前
- 4位 岡山駅西口A
- 5位 岡山総合グラウンド

休日は西口方面が上位にランキング

※本資料では、休日とは、土・日・祝日とします

- ・交通拠点の中でも、岡山駅東口ポートに利用が集中(特に平日)
- ・休日は岡山駅西口方面も利用が多い

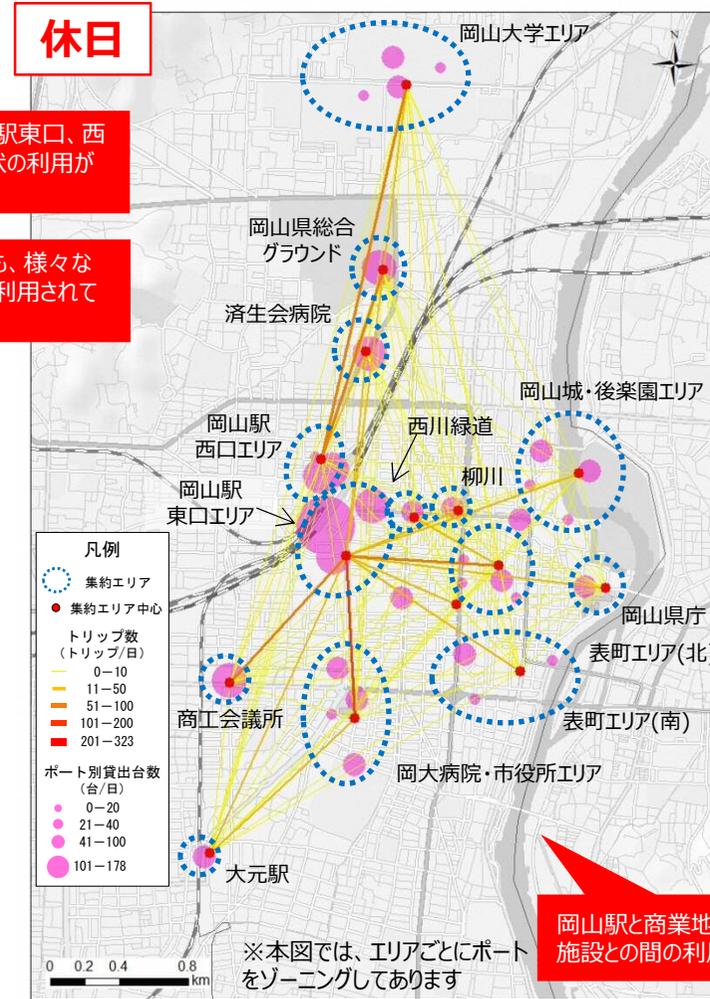
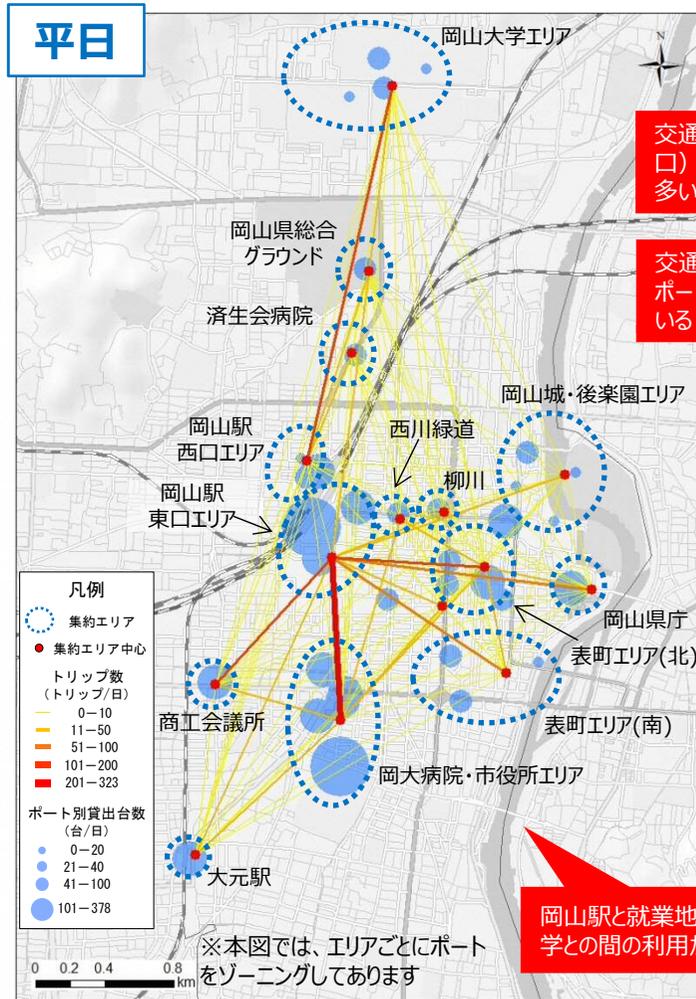
1. 現状の整理

②利用概況（4）

■ポータル間利用状況

ポータル別・ポータル間利用状況【平成29年11月、平日】

ポータル別・ポータル間利用状況【平成29年11月、休日】



- ・交通拠点(岡山駅)を軸に放射状の利用が多い
- ・交通拠点(岡山駅)以外にも様々なポータル間の移動に利用されている

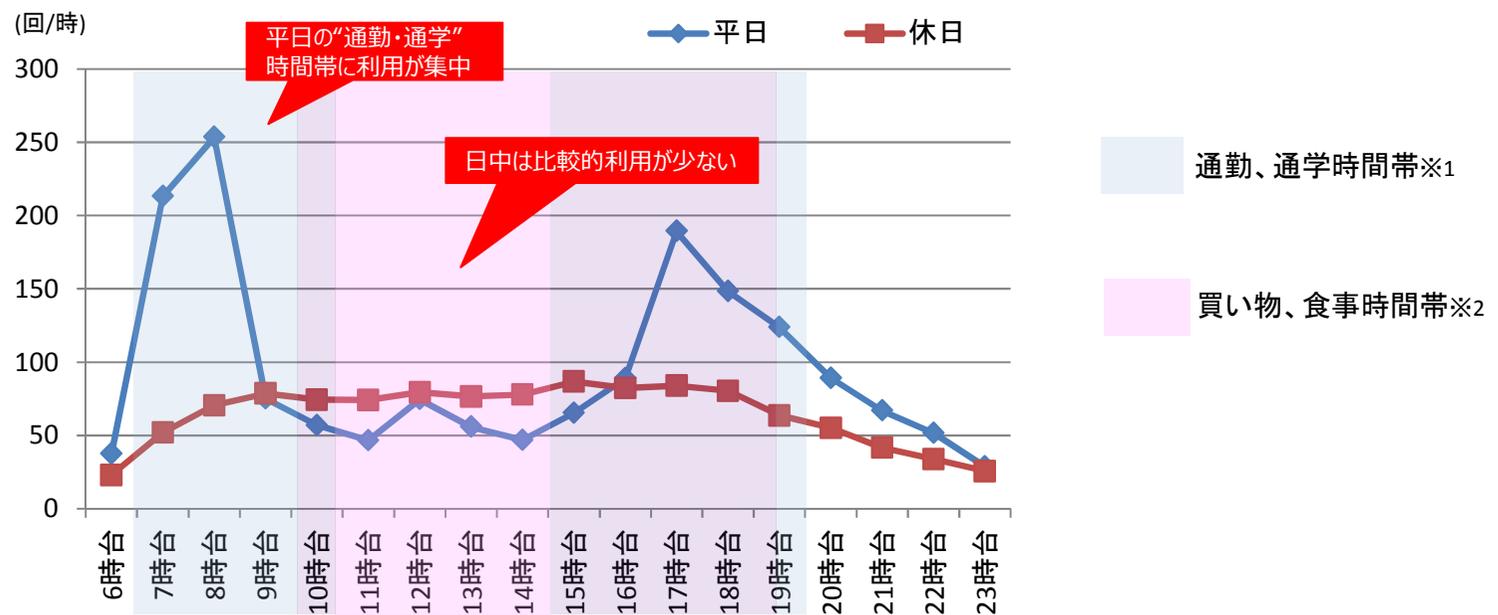
1. 現状の整理

②利用概況（5）

■ 利用時間帯

利用時間帯(平日・休日別)

【平成29年11月】



※1 JR岡山駅倉敷方面普通列車毎時6本以上運行(JR時刻表2018.3より)

※2 市内百貨店営業時間

- ・平日の通勤、通学時間に利用が集中
- ・日中は比較的使用が少ない

1. 現状の整理

③運用状況（1）

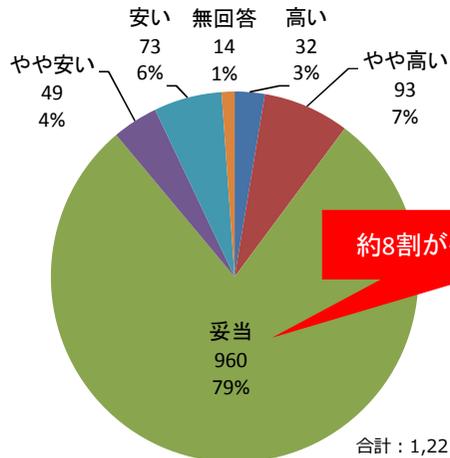
■ 利用料金と収支

現行利用料金

●ももちり利用料金(基本料金)	
1回利用	100円
60分繰り返し利用	200円
回数券(5回分)	300円
1ヶ月利用	1,000円
6ヶ月利用	5,000円
1年利用	9,000円
1年利用(法人)	10,000円

利用料金の評価

【利用者アンケート】



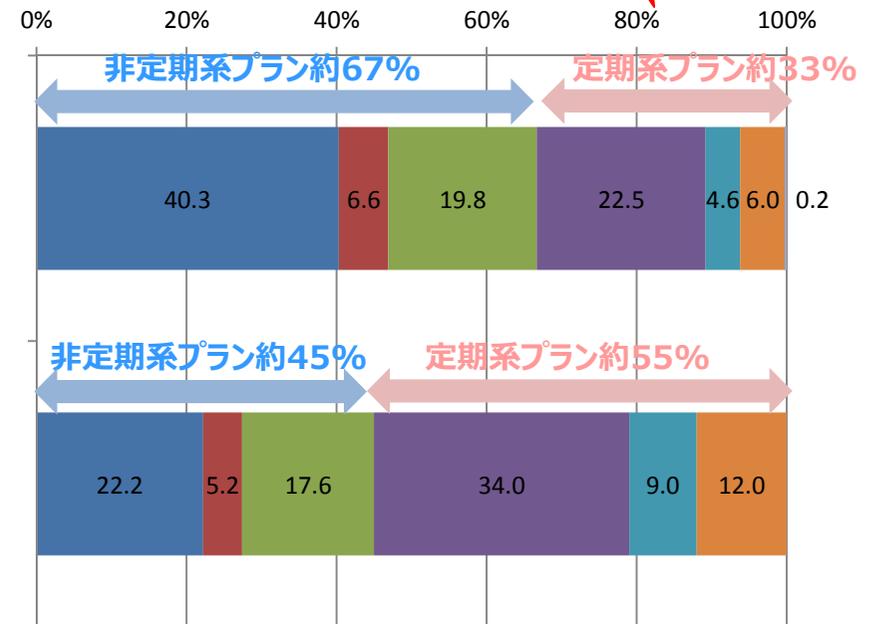
約8割が妥当と感じている

料金収入と利用回数

【平成29年度】

定期系プランは料金収入の約3割、
利用回数の約5割を占める

料金収入の
料金プラン別割合



- 1回利用
- 60分くりかえし利用
- 回数券
- 1ヶ月利用
- 6ヶ月利用
- 1年利用
- 1年利用(法人)

- ・料金は概ね妥当と評価されている
- ・定期系プランは料金収入の約3割、利用回数の約5割を占める

1. 現状の整理

③運用状況（2）

■ 利用料金と収支

運営収支の状況

(単位：千円)

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
収入	料金収入	5,990	14,346	24,122	33,370
	自主事業収入 (広告)	0	654	2,006	2,592
	市負担金 (A) (市負担金/収入合計)	18,900 (75.9%)	23,457 (61.0%)	41,188 (61.2%)	41,127 (53.4%)
	合計	24,890	38,457	67,315	77,089
支出	人件費等	22,426	29,343	43,172	54,586
	機械保守点検費 等	7,690	8,371	9,250	9,642
	その他※	12,853	8,992	14,727	16,842
	合計 (B)	42,969	46,706	67,149	81,070
差額 (収入－支出)		-18,080	-8,249	166	-3,981
利用回数 (回) (C)		67,306	190,506	341,222	483,448
利用 1 回あたりの経費 (円/回) (B÷C)		638.4	245.2	196.8	166.8
利用 1 回あたりの市負担金 (円/回) (A÷C)		280.8	123.1	120.7	85.1

人件費が増加している

支出が収入を上回っている(H27除く)

利用1回あたりの市の負担金は年々減少

※その他 (通信運搬費、消耗品費、光熱水費等)

- ・本市の負担金の1回あたり経費は年々減少(H25約280円⇒H28約85円)
- ・人件費が増加していることで、支出が収入を上回っている状況

1. 現状の整理

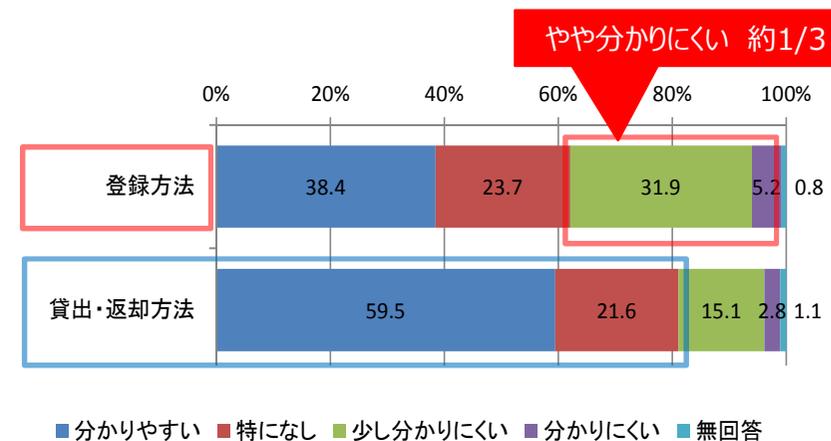
③運用状況（3）

■ 利用方法（登録・貸出・返却）について

- ・貸出、返却方法については、概ねわかりやすいと感じている。
- ・登録方法等については、利用者の1/3が“やや分かりにくい”と感じている。

利用方法の分かりやすさの評価

【利用者アンケート】



■ 自転車及び機器類（ラック、精算機）の状態

- ・自転車及び機器類は、想定以上に高い稼働により劣化が進行している状態

- ・登録方法等について、利用者の1/3がやや分かりにくいと感じている
- ・自転車及び機器類は、想定以上の稼働により劣化が進行

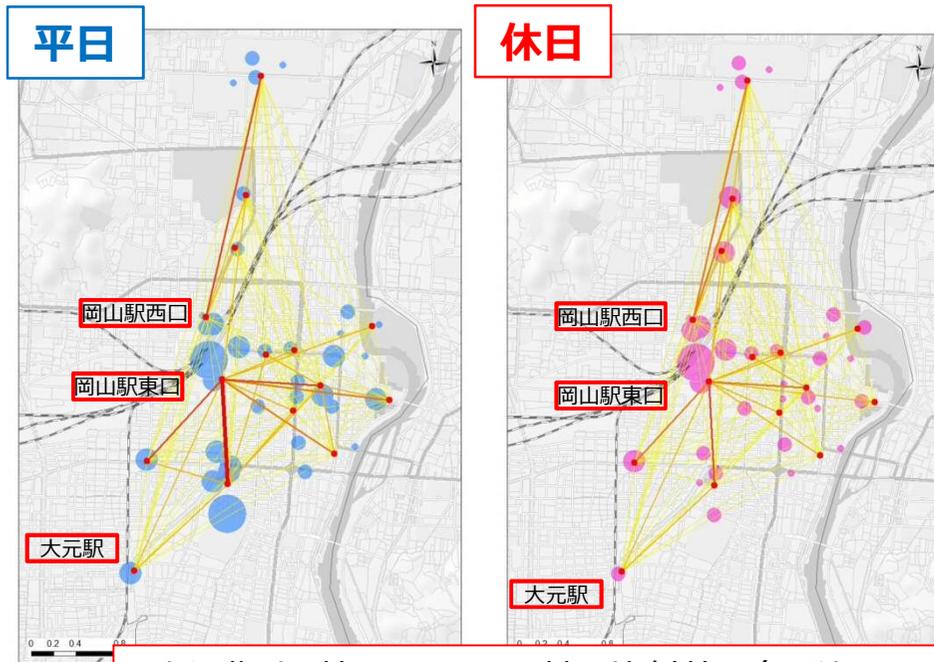
2. 導入の効果

①公共交通利用への転換促進（1）

- 都心部における利便性の高い交通手段の提供 ⇒交通拠点と主な観光地、商業エリア、公共施設等にポートを展開
- 効果 **二次交通として利用**

ポート間の利用状況

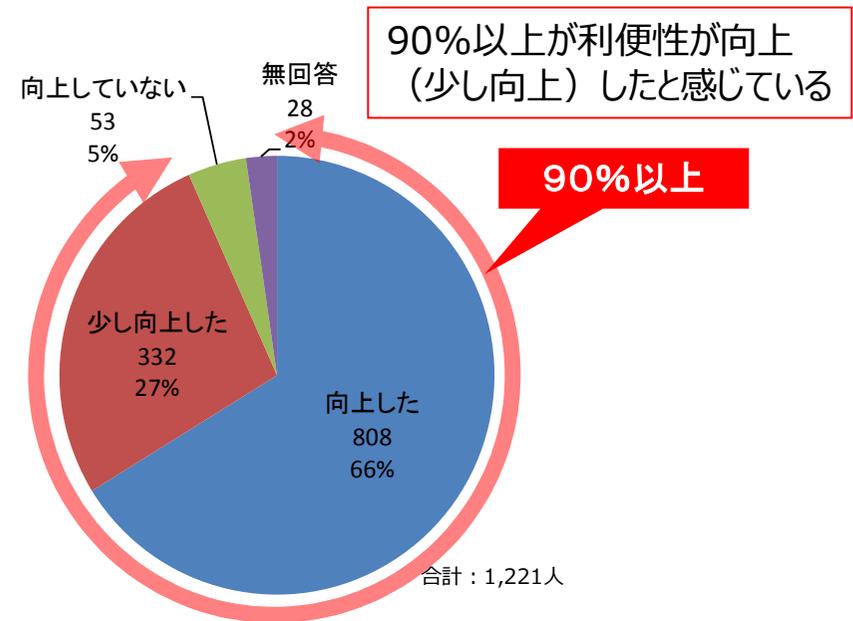
【平成29年11月、再掲】



- ・交通拠点(特に岡山駅)を軸に放射状に多く利用
- ・二次交通としての利用が伺える

ももちゃり導入による岡山駅等での乗り換え利便性に関する利用者の意識

【利用者アンケート】



・鉄道とももちゃりを組み合わせた二次交通としての利用が多い

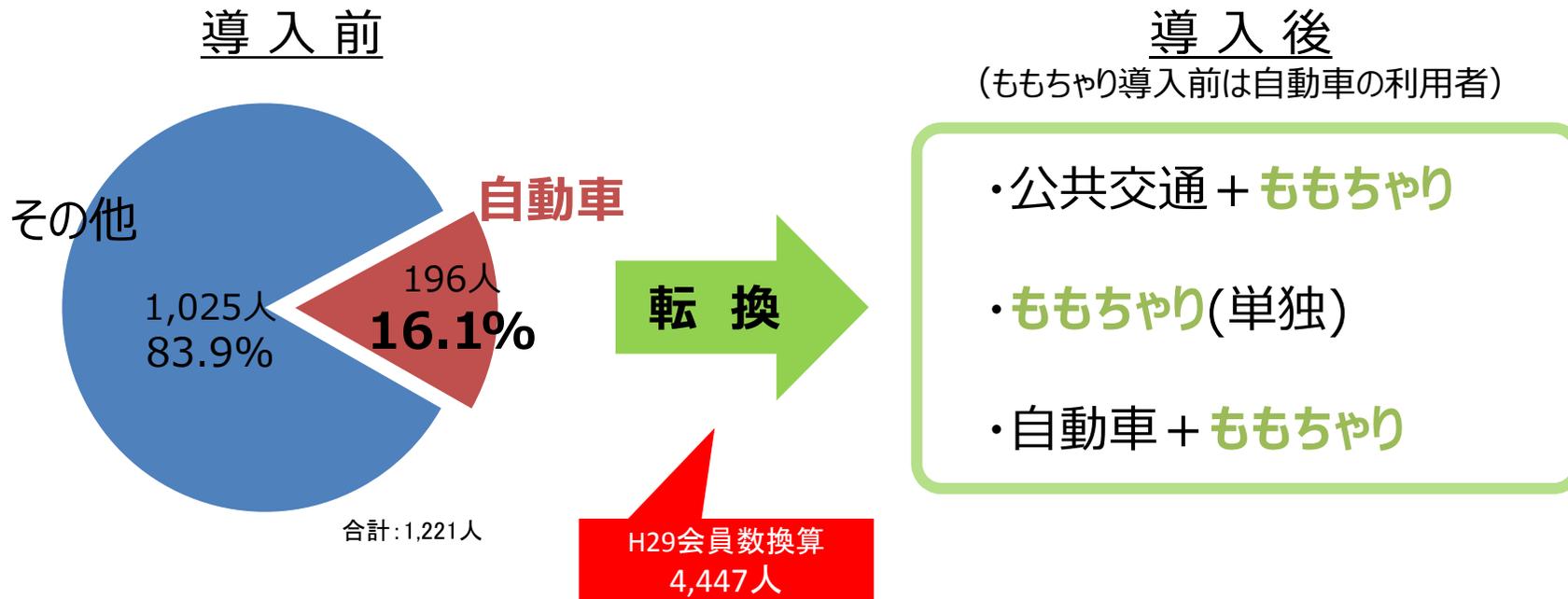
2. 導入の効果

①公共交通利用への転換促進（2）

- 都心部における利便性の高い交通手段の提供 ⇒常に貸出可能な状態を確保する信頼性の高い運用
- 効果 **自動車から公共交通へ**

ももちゃり導入前後の主な移動手段の変化

【利用者アンケート】



・自動車だけの移動から、ももちゃりを活用した移動に転換したのは約4,500人(H29)

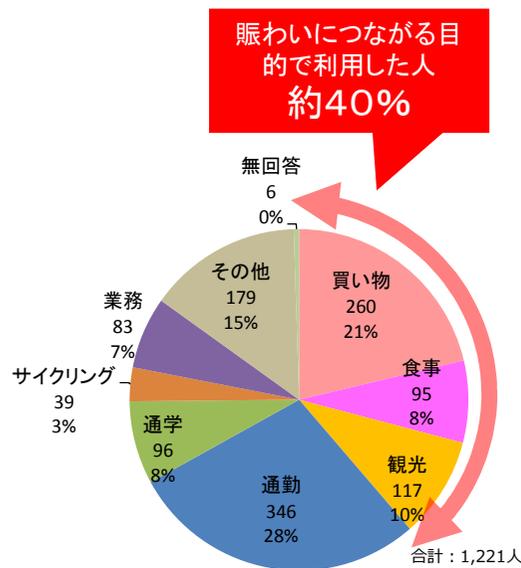
2. 導入の効果

②賑わいのある都心部創出（1）

■ 回遊性の高いツールの導入 ⇒ 主な観光地、商業エリア等にポートを展開、回遊しやすい料金プランの設定

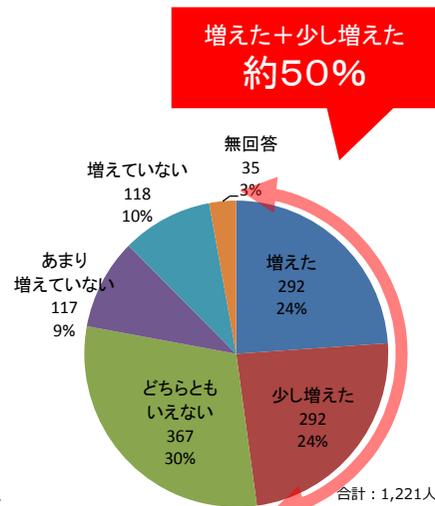
■ 効果 **賑わいにつながる行動変化**

ももちやりに利用する目的
【利用者アンケート】

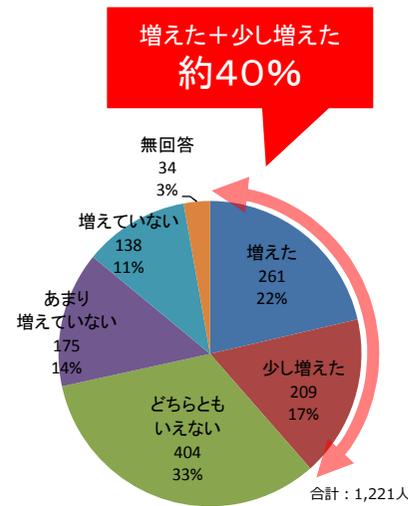


ももちやりに導入による行動変化意識 【利用者アンケート】

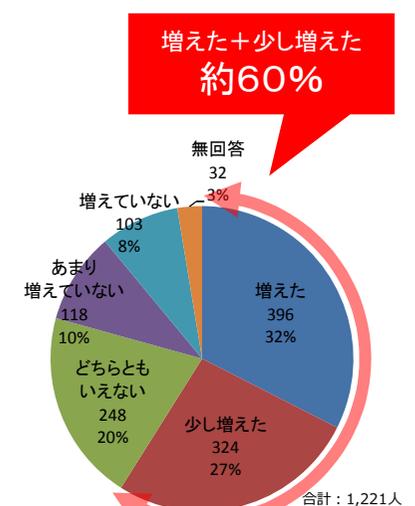
まちなかへ出かける機会



まちなかでの滞在時間



立ち寄るお店や目的の場所



・利用者の約半数は、ももちやりの導入で出かける機会が増える等の行動変化

2. 導入の効果

②賑わいのある都心部創出（2）

■ 回遊性の高いツールの導入

■ 効果 **回遊性**

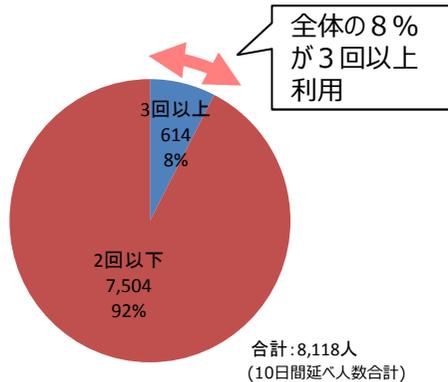
1日3回以上利用した人を回遊利用者として、つぎの点を確認した

- ・3回以上利用した人数の全体に占める割合
- ・ポート間利用状況

※平成29年11月の土日祝(10日間)をサンプルとした

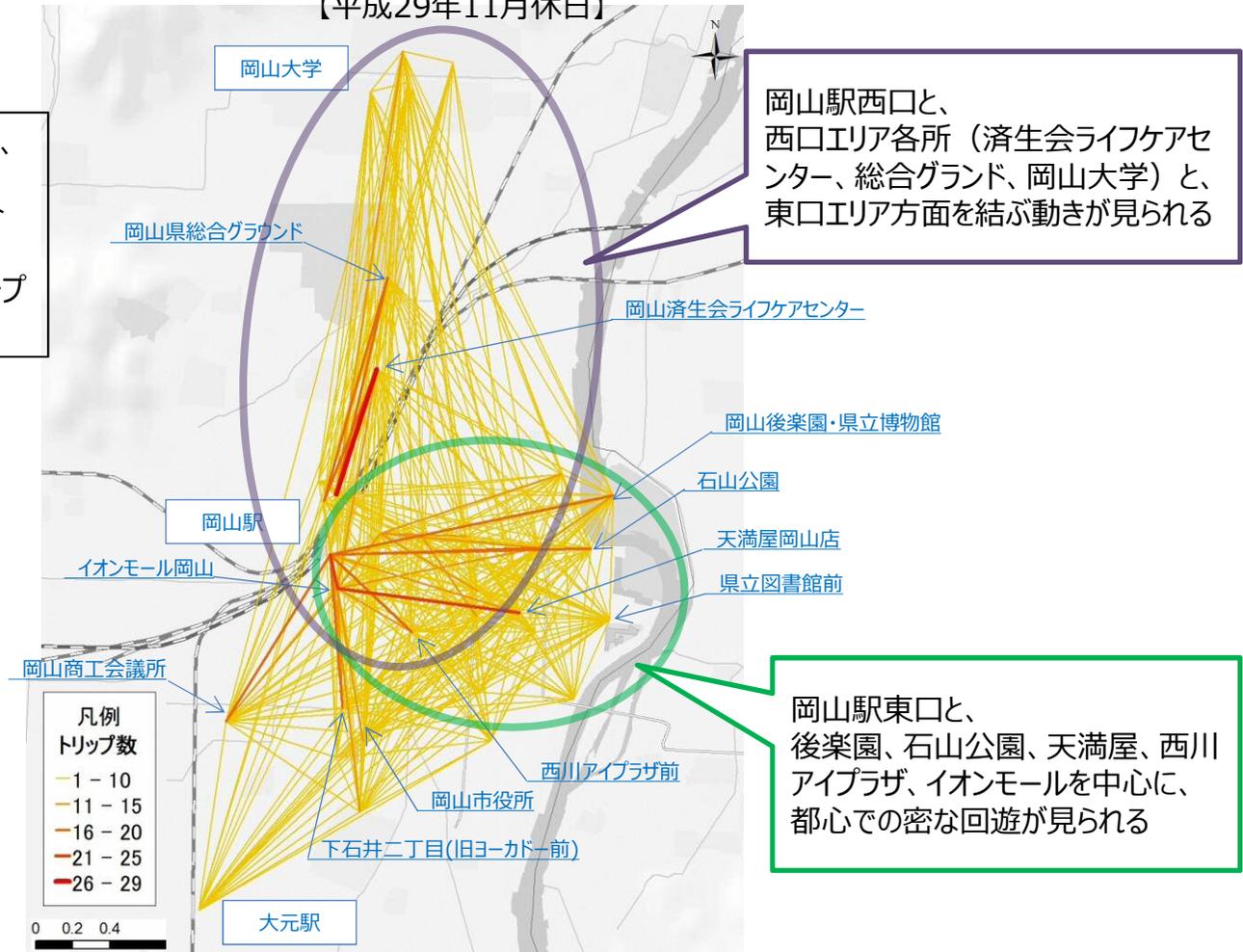
1日3回以上利用した人数の割合

【平成29年11月休日】



1日3回以上利用した人のポート間利用状況

【平成29年11月休日】



- ・岡山駅東口と、商業地、観光地を中心に都心内で密に回遊利用された
- ・岡山駅西口と、総合グラウンド周辺、東口エリア方面への回遊に利用された

2. 導入の効果

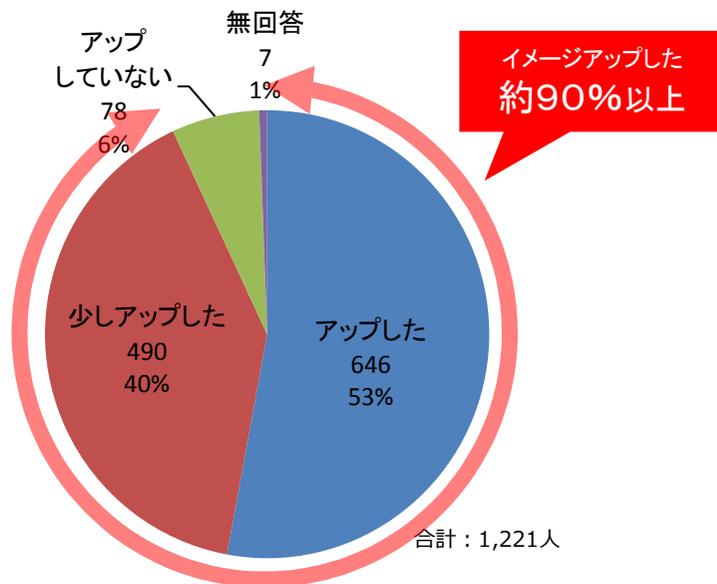
③本市のイメージアップ

■ 自転車施策を象徴する“コミュニティサイクル”の導入 ⇒スタイリッシュな自転車、ポート、親しみやすいネーミング

■ 効果 **イメージアップ**

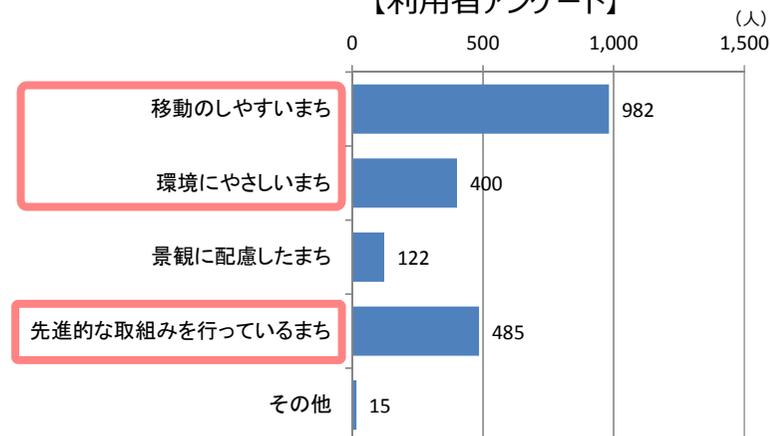
岡山市のイメージアップに関する利用者の意識

【利用者アンケート】



イメージアップの内容

【利用者アンケート】



・ 特に、“移動のしやすいまち”としてイメージアップに貢献

3. ももちやりの今後の方向性

継続的な運営のための主な課題

■ 利用

- ・岡山駅東口に利用が集中(特に平日)
- ・平日は“通勤・通学”時間帯に利用が集中
- ・日中は比較的利用が少ない

⇒ **休日、平日の日中の利用促進**

■ 収支と利用料金

- ・回送にかかる人件費が増加していることにより、支出が収入を上回る状況
- ・定期系プランは料金収入の約3割、利用回数の約5割

⇒ **全体的に多く利用されているが、回送するための人件費が増加していることにより支出が収入を上回る状況**

⇒ **低い料金（特に定期系）による収入不足**

■ その他

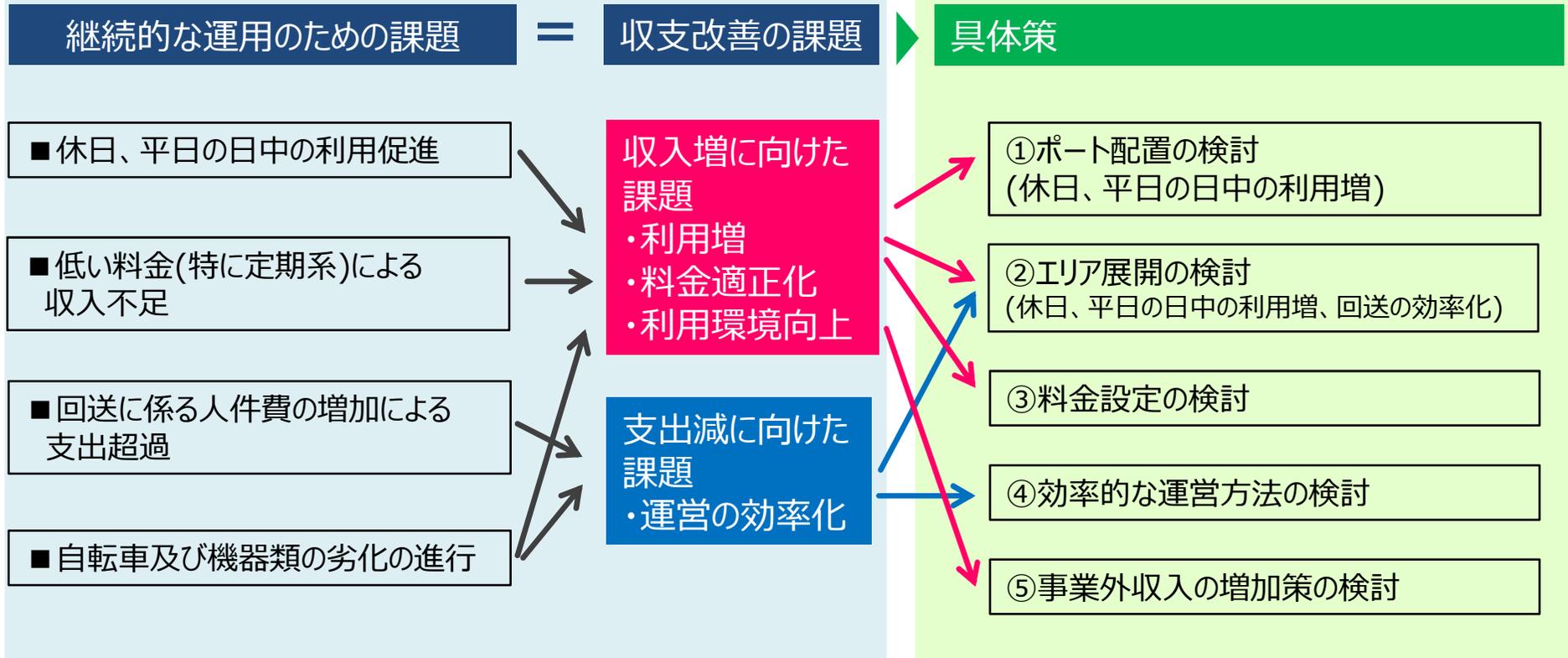
⇒ **自転車及び機器類は想定以上の稼働による劣化の進行**

3. ももちやりの今後の方向性

課題への対応の方向性

着眼点

公共交通利用への転換促進、賑わいのある都心部創出



方向性

公共交通を利用して都心を訪れる人が、街なかをより楽しむことに重点を置いた利用促進と運営の継続性の確保を図るために、
①ポート配置の検討(休日・平日の日中の利用増)、②エリア展開の検討(休日、平日の日中の利用増、回送の効率化)、③料金設定の検討、④効率的な運営方法の検討、⑤事業外収入の増加策の検討 を行う